

2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月7日

上場会社名 株式会社アルファ 上場取引所 東
 コード番号 3434 URL <https://www.kk-alpha.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 塚野 哲幸
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総合企画部長 (氏名) 渡辺 勝俊 (TEL) 045-787-8401
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無 (機関投資家・アナリスト向け個別ミーティング有)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	16,703	△8.4	△94	—	△62	—	232	△49.4
2025年3月期第1四半期	18,231	0.7	165	△58.9	556	△19.2	459	△14.2

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 △1,111百万円(—%) 2025年3月期第1四半期 1,386百万円(0.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	24.22	—
2025年3月期第1四半期	47.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	66,133	34,671	51.2	3,528.57
2025年3月期	67,781	36,371	52.3	3,695.98

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 33,855百万円 2025年3月期 35,461百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	20.00	—	28.00	48.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	20.00	—	30.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,000	△4.8	1,500	64.1	1,400	129.7	900	—	93.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期1Q	10,200,000株	2025年3月期	10,200,000株
2026年3月期1Q	605,323株	2025年3月期	605,323株
2026年3月期1Q	9,594,677株	2025年3月期1Q	9,582,445株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(第1四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(第1四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国では政策動向による影響が懸念されるものの景気は底堅く推移し、欧州では景気の持ち直しの動きがみられる等、全体として堅調に推移しました。日本では企業収益が下支えとなり、雇用・所得環境の改善がみられる等、緩やかな回復基調で推移しました。一方、米国での関税政策の動向や、地政学的リスクの高まりから景気の減速が懸念され、先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループの主要関連産業であります自動車産業におきましては、欧米は堅調であったものの、日本では米国との自動車関税の引き上げ影響による輸出台数の減少等により低調に推移しました。アジア地域におきましては市場構造の変化が加速しており、中国市場での日系車の一層の販売不振、タイでも金利上昇の影響を受けて販売不振となる等、厳しい状況が続いております。セキュリティ機器事業の関連産業であります住宅産業におきましては、新築住宅着工戸数は、人件費上昇と資材高騰の影響等により低調に推移しております。加えて4月からの新築住宅への省エネ基準適合が義務化により、駆け込み着工の反動影響を受けて減少しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は16,703百万円と前年同四半期に比べ、1,527百万円(△8.4%)の減収となりました。利益につきましては、それぞれ営業損失は94百万円(前年同四半期は営業利益165百万円)、経常損失は62百万円(前年同四半期は経常利益556百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は232百万円と前年同四半期に比べ、227百万円(△49.4%)の減益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 自動車部品事業(日本)

自動車部品事業(日本)におきましては、得意先での生産台数が国内・輸出とも減少したことにより、売上高は2,257百万円と前年同四半期に比べ、172百万円(△7.1%)の減収となりました。合理化改善効果はあったものの、減収影響により、セグメント損失は16百万円(前年同四半期はセグメント利益21百万円)となりました。

② 自動車部品事業(北米)

自動車部品事業(北米)におきましては、得意先での生産台数の減少により、売上高は3,539百万円と前年同四半期に比べ、807百万円(△18.6%)の減収となりました。合理化活動の効果は見られたものの、減収影響と新分野の新製品立ち上げロスが一部残ったことにより、セグメント損失は110百万円(前年同四半期はセグメント損失39百万円)となりました。

③ 自動車部品事業(アジア)

自動車部品事業(アジア)におきましては、中国の日系車の販売不振・減産影響を大きく受け続けていること、タイでのピックアップトラックの販売不振が続いていること等により、売上高は3,339百万円と前年同四半期に比べ、561百万円(△14.4%)の減収となりました。徹底した改善活動に加え、中国では事業構造改革として拠点集約等による生産能力適正化等を推進いたしました。減収影響が大きく、セグメント損失は335百万円(前年同四半期はセグメント損失121百万円)となりました。

④ 自動車部品事業(欧州)

自動車部品事業(欧州)におきましては、受注車種の拡大が進み、売上高は4,591百万円と前年同四半期に比べ、373百万円(8.9%)の増収となりました。増収影響に加え、合理化活動の進展が図れたことにより、セグメント利益は81百万円(前年同四半期はセグメント損失95百万円)となりました。

⑤ セキュリティ機器事業(日本)

セキュリティ機器事業(日本)におきましては、利便性向上やDX推進を背景にスマートロックの需要が拡大しつつあります。一方で22年度から続いた大手賃貸住宅事業会社向けプロジェクトの昨年度末での完遂により、住宅関連製品の売上は前年同四半期を下回りました。

ロッカーシステム事業については、駅を中心としたオペレーション事業が前年度を超える売上で推移しています。一方、鉄道や商業施設におけるロッカー投資マインドは依然堅調ではあるものの、前年度受注した複数の大型案件の影響で、売上は前年同期を下回りました。

この結果、売上高は3,151百万円と前年同四半期に比べ、295百万円(△8.6%)の減収、セグメント利益は358百万円と前年同四半期に比べ、73百万円(△17.0%)の減益となりました。

⑥ セキュリティ機器事業(海外)

セキュリティ機器事業(海外)におきましては、日本向け製品(電気錠)の生産の減少により、売上高は2,119百万円と前年同四半期に比べ、497百万円(△19.0%)の減収、セグメント利益は191百万円と前年同四半期に比べ、143百万円(△42.8%)の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は66,133百万円となり、前連結会計年度末に比べ、1,647百万円の減少となりました。また、有利子負債は前連結会計年度末に比べ、104百万円減少し、17,646百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が368百万円減少、受取手形及び売掛金が330百万円減少したこと等により、982百万円減少し、37,846百万円となりました。

固定資産は、建物及び構築物が307百万円減少したこと等により、663百万円減少し、28,279百万円となりました。

流動負債は、未払費用等を含むその他の流動負債が1,239百万円増加したこと等により、638百万円増加し、25,485百万円となりました。

固定負債は、長期借入金が513百万円減少したこと等により、587百万円減少し、5,976百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定が1,572百万円減少したこと等により、1,699百万円減少し、34,671百万円となりました。

以上により、自己資本比率は前連結会計年度末の52.3%から1.1ポイント減少し、51.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2025年5月13日公表の予想値から変更しておりません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,247	9,878
受取手形及び売掛金	13,843	13,512
電子記録債権	1,316	1,238
商品及び製品	2,584	2,470
仕掛品	1,616	1,565
原材料及び貯蔵品	6,692	6,661
その他	2,555	2,549
貸倒引当金	△25	△30
流動資産合計	38,829	37,846
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,852	4,545
機械装置及び運搬具（純額）	7,541	7,314
工具、器具及び備品（純額）	1,998	1,866
土地	2,106	2,046
その他（純額）	4,168	4,064
有形固定資産合計	20,668	19,838
無形固定資産		
のれん	620	560
その他	2,469	2,351
無形固定資産合計	3,089	2,911
投資その他の資産		
投資有価証券	3,993	4,398
その他	1,326	1,259
貸倒引当金	△135	△128
投資その他の資産合計	5,185	5,528
固定資産合計	28,943	28,279
繰延資産	7	6
資産合計	67,781	66,133
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,015	7,186
短期借入金	11,886	12,415
未払法人税等	532	447
賞与引当金	575	369
製品保証引当金	301	293
その他	3,533	4,773
流動負債合計	24,846	25,485
固定負債		
社債	1,015	1,015
長期借入金	2,861	2,348
退職給付に係る負債	317	344
リース債務	1,443	1,299
その他	925	968
固定負債合計	6,563	5,976
負債合計	31,409	31,461

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,760	2,760
資本剰余金	2,968	2,968
利益剰余金	19,140	18,802
自己株式	△540	△540
株主資本合計	24,328	23,990
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,268	2,572
為替換算調整勘定	8,864	7,291
その他の包括利益累計額合計	11,133	9,864
非支配株主持分	909	815
純資産合計	36,371	34,671
負債純資産合計	67,781	66,133

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	18,231	16,703
売上原価	15,709	14,506
売上総利益	2,521	2,197
販売費及び一般管理費	2,355	2,291
営業利益又は営業損失(△)	165	△94
営業外収益		
受取利息	18	11
受取配当金	37	32
為替差益	361	49
不動産賃貸料	6	5
助成金収入	21	14
その他	39	40
営業外収益合計	484	154
営業外費用		
支払利息	91	100
その他	2	21
営業外費用合計	93	122
経常利益又は経常損失(△)	556	△62
特別利益		
固定資産売却益	6	0
子会社清算益	10	364
特別利益合計	16	365
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	0	1
災害による損失	21	-
特別損失合計	22	1
税金等調整前四半期純利益	551	301
法人税、住民税及び事業税	174	141
法人税等調整額	△76	△26
法人税等合計	97	115
四半期純利益	453	185
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5	△47
親会社株主に帰属する四半期純利益	459	232

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	453	185
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△259	303
為替換算調整勘定	1,192	△1,599
その他の包括利益合計	933	△1,296
四半期包括利益	1,386	△1,111
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,348	△1,036
非支配株主に係る四半期包括利益	38	△74

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品事業 (日本)	自動車 部品事業 (北米)	自動車 部品事業 (アジア)	自動車 部品事業 (欧州)	セキュリテ ィ機器事業 (日本)	セキュリテ ィ機器事業 (海外)	計		
売上高									
顧客との契約から 生じる収益	1,917	4,346	3,612	4,102	3,425	812	18,216	—	18,216
その他の収益	—	—	—	—	14	—	14	—	14
外部顧客への 売上高	1,917	4,346	3,612	4,102	3,439	812	18,231	—	18,231
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	512	0	288	115	7	1,803	2,727	△2,727	—
計	2,430	4,347	3,900	4,217	3,446	2,616	20,958	△2,727	18,231
セグメント利益 又は損失(△)	21	△39	△121	△95	431	335	532	△366	165

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去△21百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△344百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品事業 (日本)	自動車 部品事業 (北米)	自動車 部品事業 (アジア)	自動車 部品事業 (欧州)	セキュリテ ィ機器事業 (日本)	セキュリテ ィ機器事業 (海外)	計		
売上高									
顧客との契約から 生じる収益	1,799	3,534	3,050	4,524	3,134	651	16,693	—	16,693
その他の収益	—	—	—	—	9	—	9	—	9
外部顧客への 売上高	1,799	3,534	3,050	4,524	3,143	651	16,703	—	16,703
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	458	5	289	67	7	1,467	2,296	△2,296	—
計	2,257	3,539	3,339	4,591	3,151	2,119	18,999	△2,296	16,703
セグメント利益 又は損失(△)	△16	△110	△335	81	358	191	167	△261	△94

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去△6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△254百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	821百万円	917百万円
のれんの償却額	48	48